

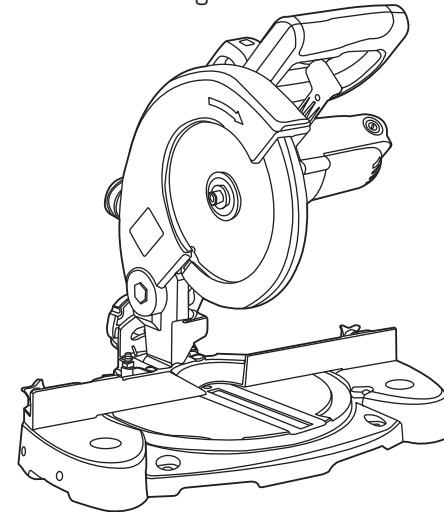
trad[®]

卓上丸のこ

形式名 TTC-190(190mm) 取扱説明書

目次

●電動工具の使用に対する安全上の ご注意(共通事項)-----	1	●ご使用方法-----	9
●ご使用上の注意-----	4	●切断方法-----	11
●各部の名称/付属部品-----	6	●縦バイス(別売り)取付方法-----	11
●仕様/用途・点検-----	7	●のこ刃の交換方法-----	14
●ご使用前の準備-----	8	●保守・点検について-----	16



二重絶縁構造

輸入発売元
 **株式会社 三共コーポレーション**

本社物流センター品質管理室
〒639-2127 奈良県葛城市新町258番地1

フリーコール **0800-500-2457**

(土・日・祝日を除く午前9時～午後5時)

FAX (0745) 62-1777

この度は、trad「卓上丸のこをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます
でございます。

お買い上げいただきました、卓上丸のこを安全に、正しくご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは次のご使用に備え、取り出しやすい場所に保管ください。

*仕様の一部を予告なく変更する場合があります。



*本機はDIY用に開発したものです。高精度を要する作業にはご注意ください。

□ 使用後の手入れ、保管について

- ◆スイッチを切り、電源からコードプラグを抜いてください。
- ◆のこ刃先端、ターンテーブルなど機体に付着した切り粉や切屑を取り除き、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ◆ひどく汚れた箇所は中性洗剤などを薄めた溶液を布に含ませ拭き取ってください。
*シンナー・ガソリン・ラッカー系溶液でのお手入れはしないでください。
- ◆雨のかけやすい場所や、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所を避け、お子様の手の届かない場所に保管してください。

安全上のご注意

本文中の「△警告」および「△注意」と区分し次のような意味を表します。
△注意に記載した内容でも状況によっては重大な事故に繋がる恐れがあります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載しています。必ず守ってください。

 警告	誤った取り扱いをした時、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容についての注意事項。
 注意	誤った取り扱いをした時、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容についての注意事項。

電動工具の使用に対する安全上のご注意(共通事項)

- 火災、感電、ケガなどの事故を未然に防止するために、「電動工具の使用に対する安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に「電動工具の使用に対する安全上のご注意」の全てをよくお読みになり、指示に従って正しく使用してください。
- 取扱説明書をお読みになった後は、次に備えていつでも見られる場所に必ず保管ください。作業場などでは、常に取扱説明書の保管場所を決めておくことが必要です。

警告

- 1.作業場は、いつも整理整頓を心掛けてください。**
 - 乱雑な場所や作業台は事故の原因となります。
- 2.作業場は周辺的环境まで考慮してください。**
 - 電動工具を雨中で使用したり、湿った場所、または濡れた場所では使用しないでください。
 - 作業場は明るくしてご使用ください。薄暗い場所での使用は事故の原因となります。
 - 引火物や可燃性のある場所や、保管場所の近くでは使用しないでください。
- 3.感電に注意してください。**
 - 濡れた手で使用したり、濡れた手袋をはめて使用しないでください。
 - 電動工具を使用中、体をアースされているものに接触させないでください。
(例:パイプ、電子レンジ、暖房器具、冷蔵庫の外枠など)
- 4.子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具や、コード線など周辺機器に触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場には近づけないでください。
- 5.無理な使用はしないでください。**
 - 電動工具は、それぞれ適正な能力を持ちます。安全に効率よく作業をするために、電動工具の能力に応じた使用をしてください。
- 6.作業に応じた電動工具を使用してください。**
 - 電動工具に指定された用途以外に使用しないでください。

- 高負荷を要する作業に小型の電動工具やアタッチメントの使用はしないでください。また、それぞれの電動工具の付属品は専用設計されています。目的以外の用途に使用しないでください。

7.きちんとした服装で作業をしてください。

- だぶついた衣類、ネクタイ、ネックレス、プレスレット、指輪を嵌めての作業は、電動工具の回転部に巻き込まれる恐れがありますので装着しないでください。
- 屋外での使用には、ゴム手袋や滑り止めのついた履物の着用をお勧めします。
- 長い髪は帽子やヘアバンドで束ねてください。

8. 防具を必ず着用ください。

- 作業中は保護めがね、防塵マスク、イヤーマフなど状況に応じ防具を着用してください。

9. コードは乱暴に扱わないでください。

- コードを持って、電動工具を高所から降ろしたり運んだり、また、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角張った場所などから避けてください。

10. 加工物はしっかり固定してください。

- 加工物は、バイス、万力、クランプなどでしっかり固定し作業をしてください。電動工具の回転による反動から万一の事故を防げます。

11. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスの取れた体勢で作業をしてください。特に高所の作業には、命綱などで体を結わくなど安全には万全を期すよう配慮してください。

12. 次の場合は、必ず電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない時や修理をする場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの取り付け、交換およびその他付属品の取り付けや交換をする場合。
- 作業中にブレーカーが落ちたり、停電となった場合。

13. 調節キーやスパナなどは必ず外してください。

- 電源を入れる前に必ず調節に用いた、キーやスパナなどの工具類が取り外してあることを、確認してください。

14. 不意な始動はしないでください。

- 電動工具を電源につないだ状態でスイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れているか確かめてください。

15. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

16. 電動工具は慎重に扱い、十分注意をして作業をしてください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周辺の状態に充分配慮し作業をしてください。
- 体調が万全でない場合は電動工具を使用しないでください。

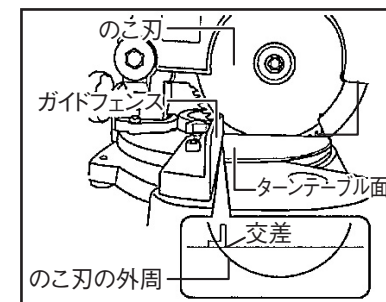
17. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書や弊社のカatalog、電動工具関連資料などに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

- ◆この刃の外周が、ガイドフェンスとターンテーブルの上面の交差する位置より下がった位置にしてください。(図30)

- ◆緩み止めナットを締めて、下限位置調整ボルトが緩まないようにしてください。

- ◆ポールを取り付けてください。(この刃の取付方、図18を参照ください)



(図30)

注意:

*この刃を取換えたときは、この刃がターンテーブルに当たることがありますのでこの刃の下限調整を確認してからご使用ください。

*ハンドルを下げ、この刃カバーが正常に作動することを確認してください。

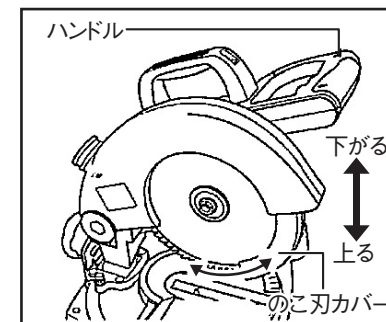
■この刃カバーの作動点検と保守

- ◆この刃カバーは、ハンドルを下げると自動的に上がり、ハンドルを上げると元の状態に戻ります。(図31)

- ◆この刃カバーの作動が不完全のまま使用したり、故意に任意の位置での固定や取り外しは絶対にしないでください。

- ◆この刃カバーはいつも円滑に作動することを確認してご使用ください。

- ◆この刃カバーが異常なままの使用はしないでください。



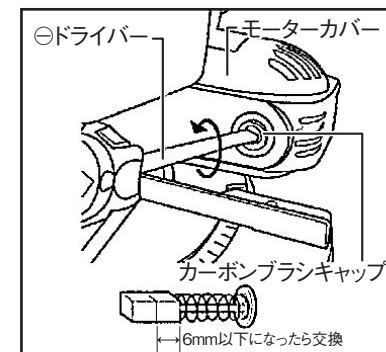
(図31)

■カーボンブラシの交換方法

⚠ 警告

- カーボンブラシを交換するときは必ずスイッチが切れていることを確認してください。スイッチが入ったままコードプラグを電源に差し込むと不意に起動し思わぬ事故の原因となります。

- ◆カーボンブラシは時折、点検してください。カーボンブラシは消耗品です。交換の目安は残り長さ6mmです。カーボンブラシが減りすぎますとモーターの故障の原因となるのでこまめな点検をお勧めします。(図32)



(図32)

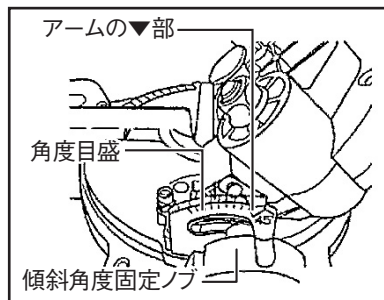
◆傾斜角度固定ノブを緩めて、本機を左に傾斜させてください。

◆アームのマーカ―と角度目盛45度が一致しているかを確認してください。(図26)

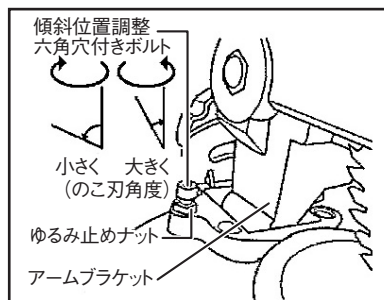
◆マーカ―と角度目盛に狂いがあった場合本機を起し、アームブラケット左側の傾斜位置調整六角穴付きボルトの緩み止めナットを緩めてください。(図27)

◆傾斜位置調整六角穴付きボルトを回し、のこ刃を傾斜させたときマーカ―が角度目盛45度に合うように調整してください。(右に回すとこの刃傾斜角度が小さく左に回すと大きくなります)(図28)

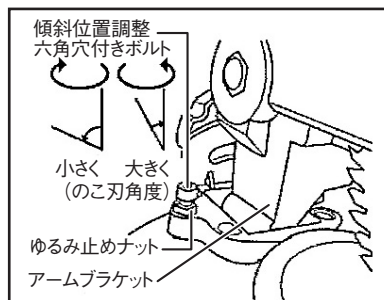
◆調整が終わりましたら傾斜角度固定ノブを締めて本機を固定し、傾斜位置調整六角ボルトの緩み止めナットを締めてください。



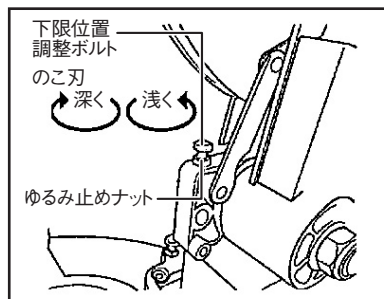
(図26)



(図27)



(図28)



(図29)

■のこ刃の下限位置の調整方法

◆外径190mmののこ刃を基準にしてのこ刃の下限位置を調整しています。

◆アームの下にあるボールの取付六角穴付きネジを付属の六角レンチ(4mm)で外してください。(図13をご参照ください)

◆下限位置調整ボルトの緩み止めナットを緩め、下限位置調整ボルトを回します。右に回すとこの刃は深く、左に回すと浅くなります。(図29)

⚠ 警告

18. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用の前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないかよく点検し、正常に作動するか、また所定の機能を発揮するか確認をしてください。
- 可動部分の位置調整や、締め付け状態、部品の破損、取り付け状態その他、運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常のないことを確認してください。

19. 電動工具は注意深く手入れをしてください。

- 安全に効率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保つようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取り扱いに従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社の営業所にお問い合わせください。

20. 使用しない時は必ず保管をしてください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない場所か、鍵の掛けられる保管庫などの安全な場所に保管してください。

21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- 電動工具は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店か、弊社営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理しますと十分な機能を発揮しないばかりか事故やケガの原因となります。

■騒音に関する法条例について

ご使用に際し、各都道府県の条例で定める工場や事業所で使用する場合は周囲に迷惑をかけないよう各条例で定めた騒音値以下での使用が必要です。遮音壁を設けるなど、騒音対策の上使用ください。

ご使用上の注意

先に電動工具の使用に対する共通の注意事項を述べましたが、本製品をさらに安全に、正しくご使用いただくために以下の注意事項を遵守ください。

警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電源で使用してください。

- 表示以外の電圧では、回転が異常に高くなったり、過負荷となり本製品の機能が発揮されないだけでなく、事故の原因に繋がる恐れがあります。

2. ご使用前には試し運転をしてください。

- 周囲の安全を見極めたうえで、約1分間の試し運転を行い、のこ刃の振れや本体の異常な音、振動のないことを確認してください。

3. のこ刃カバーは取り外さないでください。

- のこ刃カバーを外してお使いになりますと、回転中、停止時を問わず思わぬ事故の原因になります。また、のこ刃カバーはスムーズに可動することを確認してください。

4. 用途目的に沿った使い方をしてください。

- 仕様で定めた以外の使用はしないでください。

5. のこ刃は必ず指定のものをご使用ください。

- 外径・内径をよくご確認の上、適切なものをご使用ください。仕様外のものをご使用になりますと、のこ刃外れや破損など思わぬ事故に繋がる可能性が有ります。

6. のこ刃にヒビ、割れ、カケ、曲がりなどのないことを確認してから使用してください。

- 異常があると、のこ刃が破損しケガの原因になります。

7. 使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。

- ケガの原因となります。

8. のこ刃や付属品は説明書に従って正しく、確実に取り付けてください。

- のこ刃や付属品が正しく取り付けいていないと思わぬケガや事故の原因となります。

9. 加工物は小さく切り落とさないでください。

- 加工物がのこ刃に巻き込まれ反動で飛散する場合があります危険です。

10. 使用中は機体を確実に保持ください。

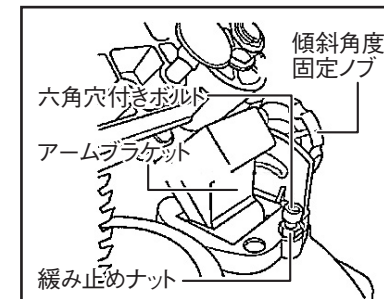
- 機体にガタがあつたりすると機体がブレて危険です。機体を確実に保持してご使用ください。

11. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常を感じた場合は直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に申し出てください。

- そのままの使用はケガの原因となるばかりでなく、製品の損傷に繋がります。

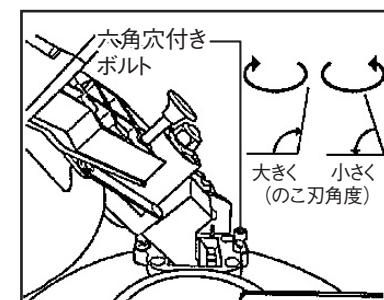
■傾斜切断時の角度調整

- 直角(0度)の調整
- ◆アーム後部の傾斜角度固定ノブを緩め、本機を左方向に傾けてください。
- ◆アームブラケット右側の六角穴付きボルトの緩み止めナットを緩めます。(図22)



(図22)

- ◆六角穴付きボルトは、右に回すとこの刃角度は大きくなり、左に回すと小さくなります。(図23)



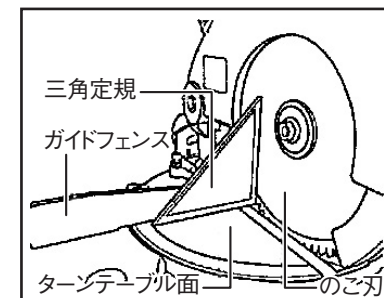
(図23)

- ◆ターンテーブル面とのこ刃の刃面が直角になるまで六角穴付きボルトを回してください。(図24)

- ◆この刃が直角になりましたら傾斜角度固定ノブを締めて本機を固定し、六角穴付きボルトの緩み止めナットを締めつけてください。

注意:

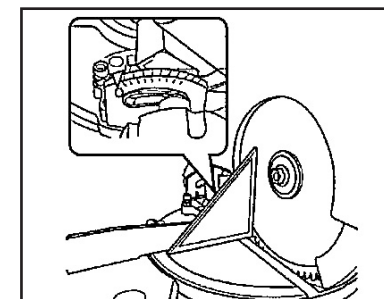
- *アームのマーカ―と目盛が合致していないときは、小ネジを緩めマーカ―を角度目盛の0度に合わせしっかり締めつけてください。



(図24)

- 傾斜(左45度)の調整

- ◆ターンテーブルとのこ刃が直角になったときに、アームのマーカ―が角度目盛0度になっているか確認してください。(図25)



(図25)

□保守・点検について

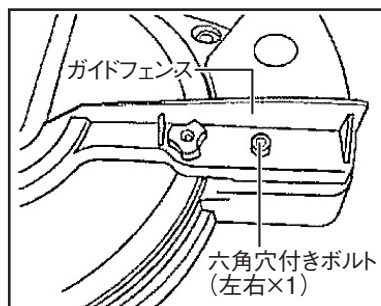
始業時、作業終了時および保管する場合、常に安全で効率のよい作業を行うために保守・点検の励行をおこなってください。

⚠ 警告

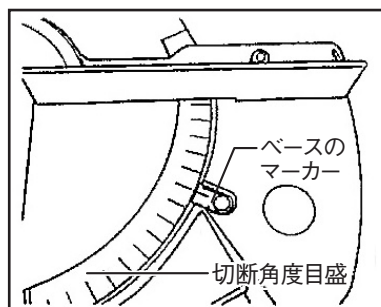
- 保守・点検前には必ずスイッチが切れていることを確認してください。スイッチが入ったままコードプラグを電源に差し込むと不意に起動し思わぬ事故の原因となります。

■角度切断時の角度調整

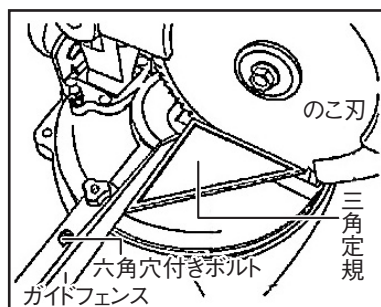
- ◆ガイドフェンスを固定している六角穴付きボルト2本を付属の六角レンチ(5mm)で緩めてください。(図19)
- ◆ターンテーブルの切断角度目盛0度と、ベースのマーカを合わせてください。(図20)
- ◆ハンドルを押えてストッパーノブで固定し、ブレード側面とガイドフェンスにかね尺又は、三角定規を当て、のこ刃とガイドフェンスが直角になるように調整してください。(図21)
- ◆ガイドフェンスが動かないようにして、六角穴付きボルトを2本ともしっかり締めてください。



(図19)



(図20)



(図21)

⚠ 警告

12. のこ刃を交換するときは必ず機体のスイッチを切り、コードプラグを電源から抜いてください。
13. 作業直後ののこ刃や加工物の切断部は熱くなっています。
 - やけどの恐れがあります。作業直後は、のこ刃や加工物の切断部が冷えていることを確認してからお取り扱いください。
14. 落下させたりぶつけた場合は、のこ刃や機体に破損、亀裂、割れ、カケ、変形などのないことを確認してください。
 - 破損や亀裂、変形があるとケガの原因ばかりでなく、機体の破損に繋がる恐れがあります。

⚠ 注意

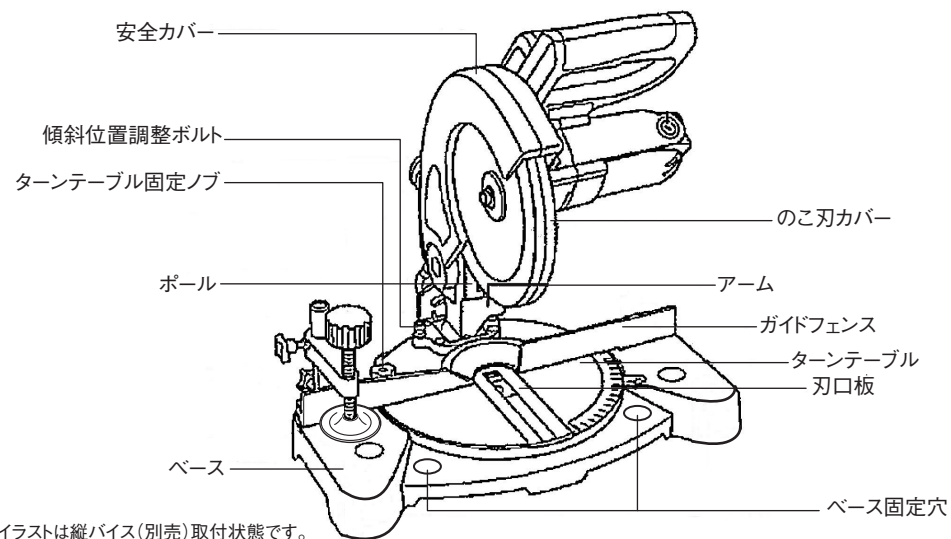
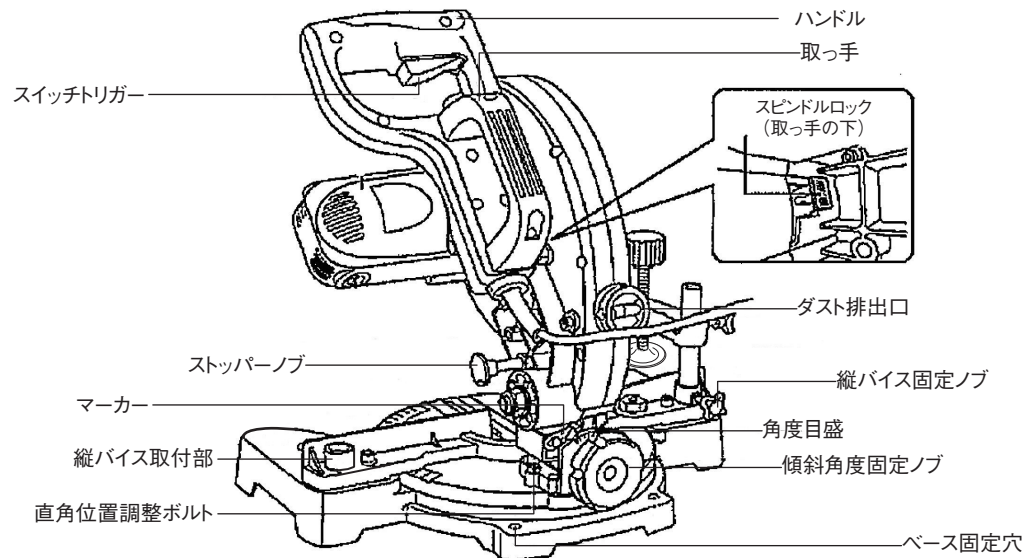
1. 試運転を必ず励行してください。

試運転時間の目安

のこ刃交換のとき	3分以上
始業前点検	1分以上

 - 試運転をしないで作業を始めることはケガの原因となります。
2. 高所作業のときは、周辺の環境をよく確認してください。コードを引っ掛けたりしないよう注意してください。
 - 材料や機体を落としたとき、事故の原因となります。
3. 材料は確実に固定してください。
 - 固定が不十分な場合、のこ刃が破壊したり、材料が飛び出したりし事故の原因となります。
4. 回転させたまま放置しないでください。
 - ケガの原因となります。

各部の名称



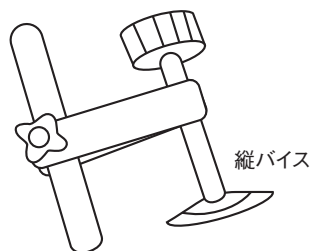
※イラストは縦バイス(別売)取付状態です。

付属部品

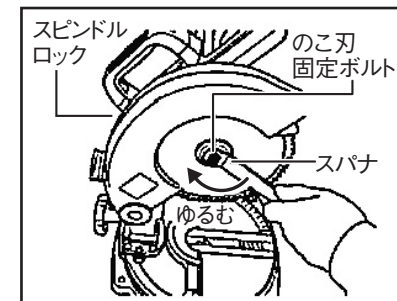
※のこ刃(本体機付け) ※ダストバッグ ※スパナ
※六角棒レンチ(5mmおよび4mm) ※カーボンブラシ

別売部品

※縦バイス(商品番号:329994)



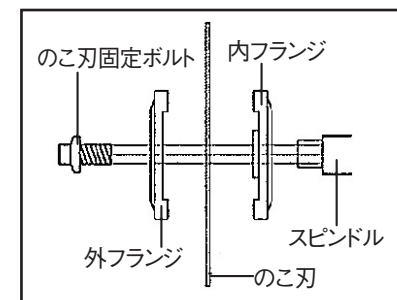
- ◆のこ刃カバーを安全カバー側に回し上げてください。
- ◆スピンドルロックを押さえながら、のこ刃固定ボルトを付属のスパナで左右に軽く回すとスピンドルがロックします。
- ◆のこ刃固定ボルトは逆ネジです。時計方向に回し抜き取り、外フランジ、のこ刃の順に外してください。(図15)



(図15)

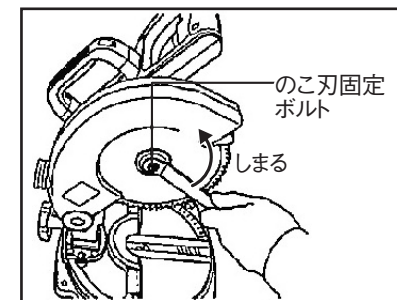
◆のこ刃の取り付け方

- ◆のこ刃カバーを安全カバー側に押し上げてください。
- ◆スピンドルに内フランジ⇒のこ刃⇒外フランジ⇒六角ボルトの順に取付けてください。(図16)
- 注意:
*安全カバーに表示の回転方向矢印と、のこ刃の回転方向が合っていることを確認してください。
*内・外フランジ面の汚れを拭き、きれいにしてからのこ刃を取付けてください。



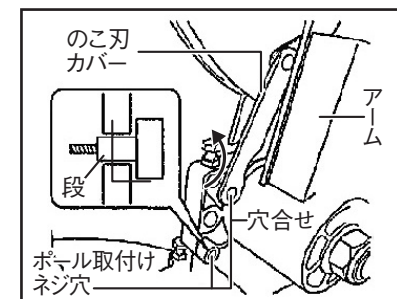
(図16)

- ◆スピンドルロックを押さえながら、のこ刃固定ボルトに付属のスパナで左右に軽く回すとスピンドルがロックします。
- ◆のこ刃固定ボルトは逆ネジです。反時計方向に回ししっかり固定してください。(図17)
- ◆アーム下のボール取付けネジ穴にボールの取付け穴を合わせ、六角穴付きネジを差し込み付属の六角レンチ(4mm)でしっかり締め付けてください。(図18)



(図17)

- 注意:
*六角穴付きネジには段が付いています。段の部分をボールの穴に収まるようにし、締め付けてください。
- *ハンドルを下げて、のこ刃カバーが正しく動作することを確認してください。
- *のこ刃の交換が終わりましたら必ず3分間以上の試運転を行い、異常のないことを確認ください。



(図18)

□ のこ刃の交換方法

⚠ 警告

のこ刃の着脱は次のことを厳守ください。

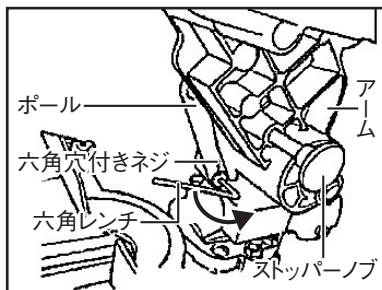
- 本機のスイッチが切れていることを確認し、コードプラグを電源から抜いてください。
*不意の起動により思わぬ事故の原因となります。
- 本機の回転方向を示す安全カバーに記された回転方向矢印とのこ刃の回転方向を合わせて取り付けてください。
*のこ刃を逆に取り付けると、切断が出来ないばかりか、キックバック現象で思わぬ事故の原因となります。
- のこ刃は本機の仕様に応じたものをご使用ください。
*本機の標準のこ刃は外径190mm・内径20mmです。切断する材料に適したのこ刃をご使用ください。

■ のこ刃の取り外し方

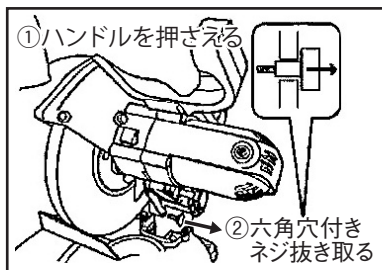
- ◆ハンドルを押さえてストッパーノブを引き出し、ハンドルを上げた状態にしてください。
- ◆アーム下のポール取付け六角穴付きネジを付属の六角レンチ(4mm)で外してください。(図13)

注意:

六角穴付きネジを抜きとるとハンドルが上方に全開します。ハンドルを押さえ、飛びあがらないように注意しながら六角穴付きネジを抜きとってください。(図14)



(図13)



(図14)

仕様

*仕様の一部が予告なく変更される場合があります。

形 式	TTC-190	
定 格 電 圧	AC 100V	
定 格 周 波 数	50-60Hz	
定 格 消 費 電 力	800W	
定 格 電 流	8.3A	
無 負 荷 回 転 数	5000min ⁻¹	
絶 縁 構 造	二重絶縁	
定 格 時 間	30分	
の こ 刃	サ イ ズ	外径190×厚さ1.4×内径20×72p
	使用できるのこ刃	外径:185~190mm 内径:20mm
ターンテーブル回転角範囲	左45°~0°~右45°	
のこ刃傾斜角範囲	左:45°~0°	
機 体 寸 法	奥行:360mm×幅395mm×高さ395mm	
質 量	5.6kg	
コ ー ド 線 長 さ	2m	

■ 木工切断能力

切断能力 (厚さ×幅)	のこ刃傾斜角度 ターン テーブルの角度	のこ刃傾斜 0°(直角)	のこ刃傾斜 左45°
	0°(直角)	45×85mm	23×85mm
	左45°	34×65mm	23×80mm
	右45°	34×65mm	15×60mm

□ 用途

木材の切断。
*木材の切断のみ可能。他の材料は切断できません。

□ 点検

- ご購入時には次の点をお調べください。
- 輸送途上に損傷した箇所がないか確認ください。
 - ネジやボルトの緩み、脱落はないか確認ください。
 - 梱包箱には本体のほか、P6記載の付属部品が揃っているか確認ください。
 - 万一不具合な点がありましたら、弊社営業所またはお買い上げ店にお申し付けください。

□ ご使用前の準備

卓上丸のこをご使用になる前に次の準備をしてください。

⚠ 警告

- 作業する環境が注意事項に記載されているような安全な状態であるか確認をしてください。

■延長コード

延長コードは使用する機体の容量より低いものであったり、長すぎたりしますと電圧変動により、製品本来の機能を発揮しないので必ず適切なサイズを使用してください。

ご参考

コード芯線の太さ(公称断面積)	2mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²
延長コードの長さ	15m以内	30m以内	50m以内

⚠ 警告

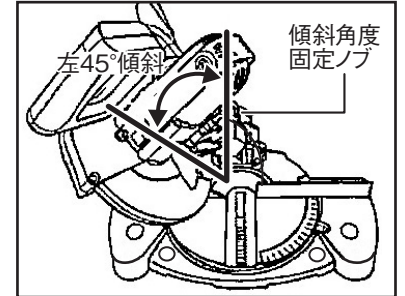
- スイッチが切れていることを確認してください。
スイッチが入ったままコードプラグを電源に差し込むと不意に起動し思わぬ事故の原因となります。
- 銘板に記載された電源条件で使用してください。
100Vを200Vで使用すると、モーターの回転数が異常に高速となり、機体破損などの恐れがあり、大変危険です。
- 雨中では使用しないでください。
本機は二重絶縁構造ですが、安全のため雨中での使用はしないでください。
- 電源コンセントの点検をしてください。
コードプラグを差し込んだとき、ガタついたりすぐ抜けるようであれば修理が必要です。
- 必ず試運転を行ってください。
のこ刃を交換したときや始業前には必ず試運転し、異常音、振動、ガタ等の異常がないことを確認してください。
試運転の目安 のこ刃交換のとき………3分間以上
始業前点検………1分間以上
のこ刃カバーは確実に取り付けられているか確認してください。
- 作業を開始する前に、周辺の環境を確認し安全を確かめてください。
機体は平坦な場所に据付け、周辺が乱雑になっていないようにし、可燃性の液体や、紙屑などがないか確認してください。特に子供は作業近くに立ち入れないでください。
- 材料はしっかりと固定し、材料と固定器具にガタ、緩みのないことを確認してください。

⚠ 注意

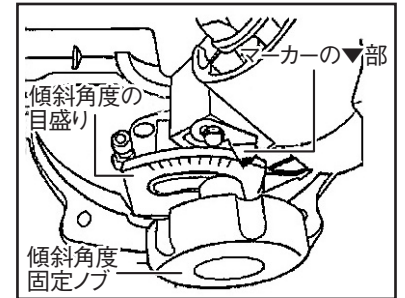
- 木材以外、傾斜切断・複合切断はしないでください。
*モーターに強い負荷が掛り、モーター焼損の原因となります。
- 傾斜切断・複合切断に別売りの縦バイスが使用できない場合があります。
目的に応じ、市販の固定具をお求めいただき、安全な作業を行ってください。
- 本機は精度を要する切断には使用できません。

■傾斜切断

- 木材の切断のみ可能です。
- ◆のこ刃を0度～左45度まで傾斜させて切断することが出来ます。
- ◆本体後部の傾斜角度固定ノブを緩め、本体を左に傾斜させます。(図10)
- ◆任意の傾斜角度にマーカを合わせ、傾斜角度固定ノブを締めつけてください。(図11)
注意:
*縦バイス(別売り)を使用するときは、作業前に縦バイスやご使用の固定具が本体周囲に接触しないことを確認してください。
*のこ刃傾斜角度0度(直角)切断から、傾斜切断への切り替えは連続で切断せず、必ず切断寸法の取り直しをしてください。又、不要の材料で試し切りをしてから角度、切断寸法の確認をしてください。
*目盛は目安としてご使用ください。



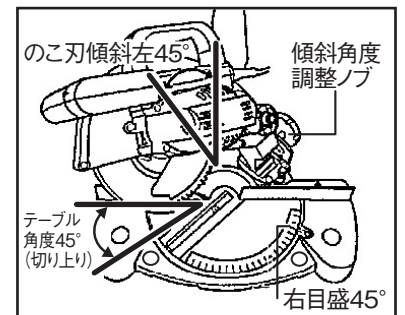
(図10)



(図11)

■複合切断

- 木材の切断のみ可能です。
- ◆ターンテーブルによる角度設定と、のこ刃の傾斜角度設定の組み合わせでの切断です。(図12)
(例)45度切断
- ◆ターンテーブルの角度目盛45度の位置に合せ、ターンテーブル固定ノブで固定してください。
- ◆のこ刃角度を45度に傾斜し、傾斜角度固定ノブで固定してください。
- 切断能力は本取扱説明のP7の仕様・木工切断能力をご参照ください。



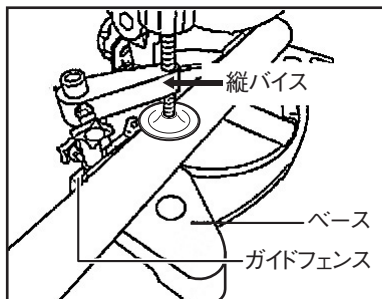
(図12)

■切断作業

- ◆材料をガイドフェンスとベースに密着させ、縦バイス(別売部品)で確実に固定してください。(図7)

注意:

- *材料の固定を怠りますと、材料が振り回され、危険です。
- *作業前に縦バイスが本体の周囲に接触していないことを確認してください。

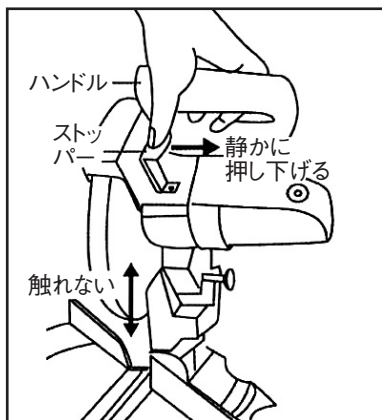


(図7)

- ◆ストッパーを図のように解除し、のこ刃が材料に触れない状態でスイッチトリガーを引き、のこ刃の回転が安定してから、ハンドルを静かに押し下げ切断作業を行ってください。(図8)

- ◆ストッパーを外さないと下がりません。

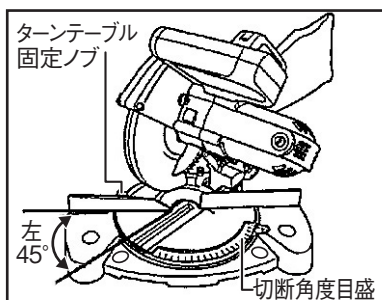
- ◆材料の切断が終わりましたら、その位置でスイッチを切り、のこ刃の回転が完全に停止してからハンドルを上げてください。



(図8)

■角度切断

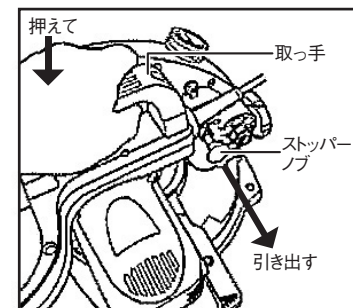
- ◆ターンテーブルの切断角度目盛に合せ、左45度～0度～右45度の範囲での切断ができます。(図9)
- ◆ターンテーブルの固定ノブを緩め、ハンドルを持って押し下げ、右又は左にハンドルを振り任意の角度に合せてください。
- ◆ターンテーブル固定ノブを締めつけてください。別売りの縦バイスを使用するときは、作業時に縦バイスが本機周囲に接触しないことを確認してください。



(図9)

■ハンドル固定の解除

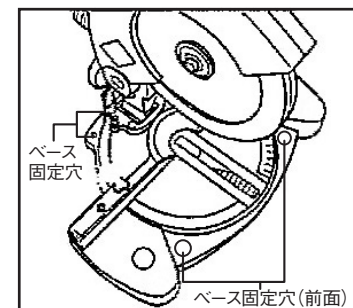
- ◆取っ手を押さえストッパーノブを引けばハンドルの固定は解除できます。(図1)
- *持ち運び、保管の際はハンドルを固定してください。



(図1)

■ベースの固定

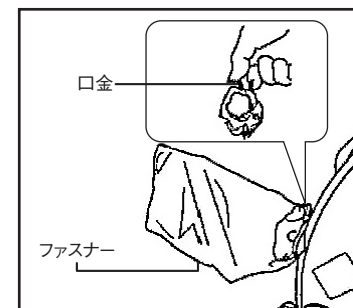
- ◆ベース固定穴を利用し、作業台に固定できます。(図2)
 - *ベース固定穴は8mmです。作業台の厚みを考慮した長さのボルト・ワッシャー・ナット(市販品)をご使用ください。
- 注意:
- *ご使用中にボルトの緩みによりガタが生じた場合は、しっかりと締め直してください。



(図2)

■ダストバッグの取付

- *木工加工のみご使用ください。
 - ◆ダストバッグの口金を指で挟みながら、本体のダスト排出口の外周溝に嵌めこんでください。指を離せば、ダストバッグの口金は締まります。(図3)
 - *ダストバッグ内に溜まったダストは早い目に捨ててください。ダストを捨てるときは、ダストバッグのファスナーを開き、中のダストを捨ててください。
- 注意:
- *本機は、自力でダストの排出をすることが出来ません。



(図3)

□ ご使用方法

■スイッチの操作について

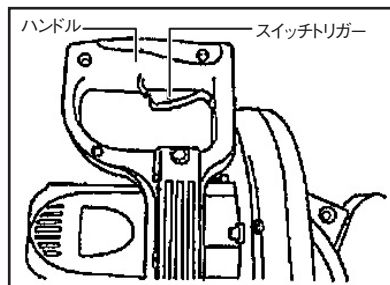
⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に記載された交流100V電源をご使用ください。表示以外の異電圧でご使用になりますと、モーターの焼損ばかりでなく、機体の破損に繋がる恐れがあり危険です。
- 電源にコードプラグを差し込む前に必ず、本体のスイッチが切れていることを確認してください。

警告

- 銘板に記載の電源電圧でご使用ください。
*表示と異なる電源電圧でご使用になりますと、モーター異常を起こすばかりでなく、本体の破損などの原因となります。
- コードプラグを電源に差し込む前に、本体のスイッチが切れていることを確認してください。
*不意の起動により、思わぬ事故の原因となります。
- スイッチトリガーをテープなどで固定しないでください。
*非常時に咄嗟にスイッチが切れず思わぬ事故の原因となります。

- ◆スイッチトリガーを引けばモーターは起動し、離せば停止します。(図4)



(図4)

■ターンテーブルの操作について

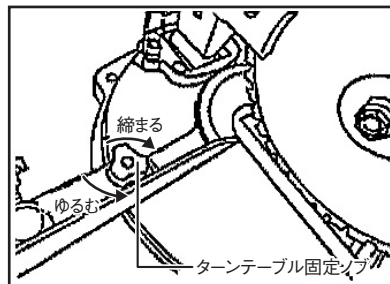
警告

- スイッチが切れていることを確認し、コードプラグを電源から抜いてください。
*不意の起動により、思わぬ事故の原因となります。

- ◆ターンテーブル固定ノブを緩めてください。
- ◆ハンドルを持って押し下げ、左右にハンドルを振り任意の角度に合わせてください。(図5)

注意:

- *ターンテーブルは、作業中に動かないように固定ノブでしっかり締めてください。



(図5)

切断方法

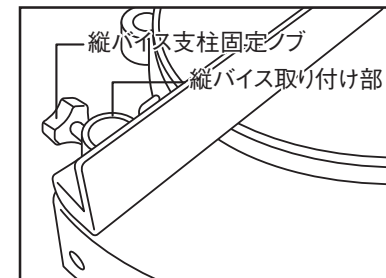
警告

- 必要以上にハンドルを押さえたり、左右に力を加えないでください。
*機体に生じる反力で思わぬ事故の原因となります。
- のこ刃が停止してから、ハンドルを持ち上げてください。
*切断精度が低下するばかりでなく、思わぬ事故の原因となります。
*切断中、こじったり、回転を止めたりしますと、のこ刃先端のカケや曲りの原因となります。
- ターンテーブルの固定ノブをしっかりと締めてください。
*切断作業中にターンテーブルが動き、思わぬ事故の原因となります。
- 材料が小さいものや、切り落とし部が薄い加工の場合、切り落とし部が飛び散り危険です。
*小さな材料、切り落とし部が薄い材料の加工はしないでください。
- 作業時に縦バイスが本体の周囲に接触しないことを確認してください。
- 本機は精度を要する切断には使用できません。
- 傾斜切断の場合次のことに注意してください。回転したままハンドルを持ち上げないでください。
*切り落とし側の材料がのこ刃に巻き込まれ飛散する恐れが有り危険です。のこ刃の停止を確認してからハンドルを持ち上げてください。
*作業は1回ごとにスイッチを切り、のこ刃の回転が完全に停止したのを確認し切断片や切粉を取り除いてから次の切断を始めてください。
*角度目盛は目安としてください。不要の材料で試し切りを行い、角度の確認を行ってください。

縦バイス(別売り)取付方法

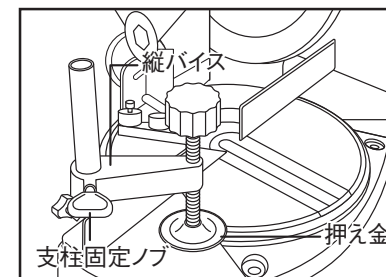
- *安全に加工作業を行うために、縦バイスのご使用をお勧めします。

- ①ガイドフェンスに設けた縦バイス取り付け部に縦バイスの支柱を差し込み、バイス支柱固定ノブで固定してください。(図6-A)



(図6-A)

- ②材料をセットし、材料に応じ縦バイス固定ノブを調整し、押え金で材料を固定してください。材料のセットができましたら、縦バイスの支柱固定ノブをしっかりと締め付けてください。(図6-B)



(図6-B)